



2024-25年度 第2650地区スローガン

持続可能なロータリーに！共に学び、共に行動

Make Rotary Sustainable ! Learn together Act together

会長	池木 啓仁
副会長	中井 謙之
幹事	丸野 正徳
会報・資料委員長	杉村 喜之

第2650地区 [1961.3.28創立]

## YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス [ytrotary@abelia.ocn.ne.jp](mailto:ytrotary@abelia.ocn.ne.jp)地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール

事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

### 第24回(通算3023回)2025年(令和7年)1月28日号

#### 本日の例会(1月28日)

「はじまりの奈良から未来へ!!」

奈良県副知事 福谷健夫 様

#### 次回の例会(2月4日)

「ハラスメントって」

弁護士 櫛田和代 様

#### 1月21日の例会報告

##### 会長の時間

昨日の1月20日は大寒でしたが、このところ大変暖かい日が続いております。しかし、1年を通じて一番寒い季節ですので、コロナ、インフルエンザ、マイコプラズマと、いろいろな感染症の蔓延が懸念されます。どうぞ体調にお気をつけください。

さて、今年は終戦80周年の年に当たります。1月16日は小野田寛郎さんの命日に当たります。小野田さんはフィリピンのルバング島から1974年(昭和49年)3月10日、30年ぶりに帰還され、当時は大ニュースになりました。皆さんは小野田さんを覚えていらっしゃるでしょうか。

彼は羽田空港に帰還したとき、やはり祖国日本は安心できる場所だと安堵感を覚えたといいます。しかし、感じたことはそれだけではありませんでした。帰国後に約20日間の強制入院をさせられ、その間に、政府の建前と本音との落差に違和感を覚えたといいます。同時に社会の反響を見ていると、自分の考え方方が既に世の中に受け入れられていないことが分かったのです。

当時の大学生のアンケートでは、自衛隊を認める人が25%しかおらず、かつて聖戦と煽った新聞が、あれは侵略戦争だったと書いていることに愕然としました。そういう世相の変化を「はい、そうですか」と受け入れることは死んでもできなかつたのだそうです。それを認めることは、終戦を疑い、仲間を失いながら戦い続けた、あの30年間の過去を「恥じて、改めろ」と強制されているに等しかつたからです。

帰国して居場所のない日々、皆さんは当時の小野田さんの心境をどのように受け取られるでしょうか。やがてあれほど愛した日本を離れ、彼はブラジルへと旅立たれます。そこで農園を営みました。今はお亡くなりになつてから随分月日がたちましたが、晩年はきっと幸せであったと信じたいと思います。

#### ゲスト

竹内重貴様 (京都市副市長 卓話講師)

田中 拓様 (京都市市長公室秘書)

#### 誕生日祝

白井健雄会員(1月22日)

#### 結婚記念日祝

植野昭三会員(1月23日)西川 均会員(1月26日)

川中光教会員(1月27日)

#### 委員会報告及びその他報告

○職業奉仕委員会 川村英亮委員長  
3月2日(日)に地区職業奉仕講演会がございます。村島靖基会員には地区職業奉仕副委員長としてご活躍していただいており、当日も司会をされる予定となっております。特に今回は奈良地区の主催となつておりますので、当クラブとしても一人でも多くの会員の方にご参加をお願い申し上げます。入会3年未満の方は、お昼の懇親会とともに必ずご参加ください。

#### ○親睦委員会

桑 雅宣委員長 4月6日(日)に地区大会が開催されます。なら100年会館において13時開会となります。午前中、新入会員セミナーがありますので、新入会員の方は必ずご出席ください。今回の地区大会の出席は皆出席の条件となりますので、ご出席の程よろしくお願い申し上げます。

#### ○社会奉仕委員会

吉岡弘修委員長 次週、例会終了後、第2回社会奉仕委員会を開催いたしますので、委員の方はご出席ください。

#### ニコニコ箱

・竹内京都市副市長をお迎えして。卓話よろしくお願いいたします。 池木啓仁会員  
・竹内様をお迎えして。 中井謙之会員  
・竹内京都市副市長様、ようこそ当クラブへ。卓話楽しみしております。 丸野正徳会員  
・竹内京都市副市長をお迎えして。 山田 博会員  
・3月2日(日)職業奉仕講演会、多くの方の登録お願いします。安田先生、ありがとうございました!! 村島靖基会員

・年初来、足首痛で難渋しています。本年もよろしくお願いいたします。 村島靖一郎会員

・今年もよろしくお願ひいたします。 吉村元嗣会員  
・阪神大震災30年を思い。 枇村喜芳会員

・結婚祝を頂いて。 山下精久会員  
・誕生日お祝いを頂いて。 平岡雄一郎会員

・あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。 清水良彦会員

・誕生日を祝っていただきありがとうございました。 一ノ坪英二会員

#### 4つのテスト [言行はこれに照らしてから]

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

## 卓話 「自治体出向の国家公務員からみた『わがまちづくり』」



京都市副市長 竹内重貴 様  
私は1976年に岐阜県恵那市の山合いの小さな町で生まれました。2000年に建設省に入省し、2002年から2004年にかけて、道路公団民営化の仕事をさせていただきました。その後、アメリカに2年間留学し、法律と国際関係について研究して、2006年に国土交通省に復帰しております。

地方自治体とのつながりで言いますと、1か所目は中部地方整備局でまちづくりの仕事をさせていただきました。東海4県の方々とのおつき合いをたくさんさせていただき、特に愛知県の豊川市の方とは今もおつき合いがございます。2か所目は、山形県庁に3年間ほど出向しておりました。

その後、約10年東京勤務が続き、国家戦略特区の仕事をするため内閣府に出向いたしました。平成27年4月、内閣府地方創生推進事務局企画調整官として、安倍内閣の下、規制改革で全国の経済の活性化するプロジェクトに2年間ほど携わりました。

そのときに手がけた規制改革には、例えば薬剤師の服薬指導の対面義務を改革し、オンライン化するといったものがありました。お医者さんの遠隔診療を補完する制度でした。

また、有名なものとしては、獣医学部の規制緩和がございます。昭和30年代に決まった、年間の入学定員約900人という決まりを改めるというものでした。獣医師は、もともと軍隊において軍馬の管理をする花形の職業でした。戦後、軍馬は必要なくなりましたが、獣医さんの社会的地位向上を考え、獣医学部の入学定員を絞ったのがこの制度の始まりでした。この制度が平成27年の段階でもまだ続いているのです。

その後、日本が経済的に豊かになるにつれ、ペットを飼う方がどんどん増えていきます。昔ですと、犬は外に綱をつけて飼う、場合によっては放し飼いにしている人もいました。しかし、愛玩性が増していき、マンションの中で犬や猫を飼い、病気になつたら、昔はほったらかしにしていたのが、獣医師に診てもらおうというケースが増えました。

それまで獣医師が担っていた役割には、保健所で食中毒の調査をしたり、牧場の牛や豚の健康管理をすること、魚の養殖の病気の特定をすること、新薬の動物試験などがありました。ペット診療の獣医師が増える中で、公衆衛生を担当する公務員獣医師や家畜担当の獣医師が供給されなくなっていました。こうしたこともあり、獣医学部の新設をまずは1校に限って認めるという規制改革をすることになったのです。

それがその後に起きる、いわゆる「モリカケ問題」につながります。大阪航空局の国有地売却をめぐる森友学園の疑惑、そして今治に新設した加計学園獣医学部に対する疑惑です。今申し上げましたように、政策的ニーズをもって規制改革をしたのですが、安倍総理が友人の加計理事長に対して便宜を図ったのではないかという批判を受けました。私は国会に対応に明け暮れることになりました。私の答弁は、道路公団民営化の際には1200問でしたが、加計学園の民営化の問題のときは2500問に及びました。今も

ブラック霞が関と言われることがありますが、当時も寝食を惜しんで働きました。当時、私は国会答弁のため、月曜日に出勤して、帰るのが金曜日の夜中の3時といった状態でした。その間、ほぼ不眠不休で働きました。

その後、京都市に参り、今、2年半がたちました。最初の2年間は都市計画局長として、京都市の都市計画に携わりました。京都市は、日本の中でも景観ルールが極めて厳しい都市です。基本的に看板の色やサイズも指定されていますし、建物の高さも31メートル、10階建て程度に厳しく規制されています。

昨年の4月からは副市長を拝命し、主には都市計画、建設、財政、消防、交通などを担当しております。

京都市は古いものを大事にするまちであると同時に、意外と新しいもの好きなところがあります。例えば、今後、空き家に対して課税する、全国で初めての空き家税に取りかかります。

これは、空き家を賃貸にも売買にも出さずに、そのままにしているオーナーの方から固定資産税見合いの額を頂くというものです。これによって、管理不全になる空き家を抑制して、少しでも賃貸や売買を通じて流通させることを狙いとしております。既に全国から問い合わせをいただき注目されております。

また、空き家の管理不全対策のほかにも狙いがあります。京都市では、東京や海外の富裕層の方が投資目的やセカンドハウスとして、中心部に家をお持ちになるケースが増えています。そうした方には、住民税をお支払いいただいていませんが、一定の行政サービスは提供することになります。また、中心部のマンションは今、非常に値上がりしており、京都市に昔からお住まいの方が住みにくくなってしまっています。こうした課題に対応するため、いわゆる億ションをお持ちの方を例にすると、固定資産税の2.6倍に相当する額を空き家税としていただこうという制度となります。

ほかにも宿泊税を、これまでの最大1000円から最大1万円に引き上げて、富裕層の方には応分のご負担をいただき、それを観光地の魅力向上とオーバーツーリズム対策に充てていこうという条例の審議に入っています。

こうした宿泊税、空き家税という、少し風変わりな新しいモデルを検討しておりますが、実は京都市というのは、空き家特措法や景観法といった新しい法律を独自の取組として始めて、国の制度になつていつたという歴史を持っています。

私は京都市に参りまして2年半ですので、自分の貢献としてはごくわずかなものだと思います。もともと、千年の都である京都市には、ただ過去の栄光を誇るだけではなく、日本の、あるいは世界のために、常に新しいものを取り入れ、貢献を目指すという気風があつたと感じています。

社会はどんどん変わっていきます。人口減少は避けがたく、高齢化・少子化が進みます。環境問題も待ったなしです。こうしたときに私が必要だと思っていますのが、民間とか役所とかNPOの垣根を取り払って、それぞれが持つ強みを持ち合い、弱みを補い合って、みんなで課題の解決に向かっていくということだと思います。

ロータリーはまさにこういった精神を理念・活動としてお持ちだと思います。これからも皆様方と一緒にあって、共に考え、共に行動してまいりたいと考えております。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
1月 21日	89	58	51	7	1	31	26	0	92.86%
1月 7日	89	58	53	5	0	31	23	0	93.83%
12月 24日	90	57	51	6	1	33	23	0	93.75%